

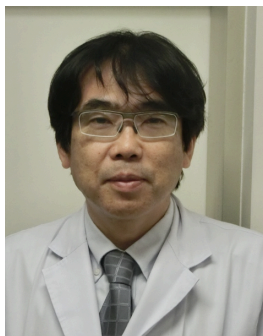
実際どうなの？

# リアル避難所体験

理想と現実 ・ 防災と減災

知っていますか？

海外の  
避難所生活



新潟大学医歯学総合研究科  
先進血管病・塞栓症治療・  
予防講座 特任教授  
榛沢 和彦氏

「避難所運営のあり方」

知っていますか？

西蒲区の災害リスク  
と避難所の現実



日本防災士会・新潟県支部  
事務局長  
成川 一正氏

「共助による避難所運営」

日時

令和7年 **2月16日** (日)

入場無料

午前10時～正午 (開場：午前9時半)

会場

西川多目的ホール  
(新潟市西蒲区曾根2046番地)

定員

200人

持ち物

非常用持ち出し袋  
(持っている人のみ)

申込

申込締切： 令和7年**1月31日**(金) 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

1

右記の二次元コードから  
アクセスし、Webサイト  
から申し込み

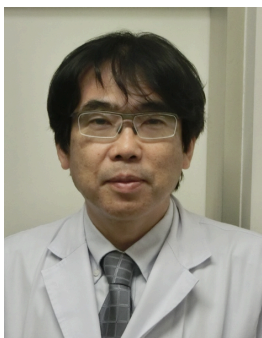


2

西蒲区地域総務課  
(☎0256-72-8143)へ電話  
受付時間：平日午前8時半～午後5時半

●定員を上回った場合は抽選となります。 ●受付終了後、入場券を発送します。 ●入場の際は、入場券が必要です。

## 講師紹介



### 新潟大学医歯学総合研究科先進血管病・塞栓症治療・予防講座 特任教授 榛沢 和彦氏

千葉県出身。新潟大学医学部平成元年卒、医学博士、新潟大学医歯学系先進血管病・塞栓症治療・予防講座特任教授、聖マリアンナ医科大学内科講師、避難所・避難生活学会理事長。専門は血管内外科治療。塞栓症や血管エコー検査の普及にも努め、新潟県中越地震、新潟県中越沖地震、能登半島地震、東日本大震災などの被災地で、エコノミークラス症候群などの予防のため下肢静脈エコー検診を地元の医師や技師などを行っている。検診の結果から、健康被害予防のため避難所に簡易ベッドの必要性を2007年から訴えている。また避難所・避難生活学会として避難所のトイレ(T)、食事・キッチン(K)、ベッド(B)、TKBの改善を提唱している。



### 日本防災士会・新潟県支部 事務局長 成川 一正 氏

新潟市西区在住。日本防災士会・新潟県支部の事務局のある建設コンサルタント会社（都市計画・交通計画・道路・橋梁・河川・トンネルの設計会社）に事務職として勤務する傍ら、平成27年に防災士資格を取得し、令和元年より日本防災士会・新潟県支部事務局長に就任。令和4年から日本防災士会本部理事、地区防災計画委員を経て、現在は本部の災害対応委員。また、災害ボランティアとして令和4年の新潟県北豪雨での関川村の災害ボランティアセンターの支援活動をはじめ、本年の能登半島地震では新潟市西区や石川県珠州市の災害支援活動を経験。現在は、7月25日の東北豪雨で被災した山形県酒田市の災害支援を行っている。



### 日本防災士会・新潟県支部

平成18年結成。現在230名の会員を有し、防災啓発活動を行うほか自治体・防災関連団体等と連携し、地域防災力の向上と人材の育成を図っている。小中学校等においても防災学習や各種訓練のほか、親子向けの防災イベントを積極的に行っている。元旦の能登半島地震では、新潟市西区の宿泊避難所の運営や西区のボランティアセンター支援に累計で480名の防災士を災害ボランティア派遣した。

## 駐車場案内

